

夏の生きものさがし



日時 平成27年8月15日(土) 午前9時00分~11時30分

場所 おおいゆめの里

講師 一寸木 肇 おおい自然園園長

参加者 17人

サポーター8人

今日の天気は曇り？それとも晴れ？



これから、夏のいきものさがしをはじめます。

今日も暑いので気分が悪くなったときは遠慮なくスタッフに伝えてくださいね。

今回の観察会もサポーターさんたちがお手伝いしてくれます。よろしくお願いします。

それでは、観察会へ出発します！

ところで、今日は、空を見上げると、雲が多いですね。

今日の天気は曇りでしょうか？それとも晴れでしょうか？



晴れと曇りはどのように決めているのでしょうか。

気象庁では、空全体に雲が70%占めるまでは晴れと定めています。

だから、今日は、雲が多いですが晴れということになります。



空を見ていたら、ちょうど鳥が飛んできました。

どんな形をしている鳥でしょうか。

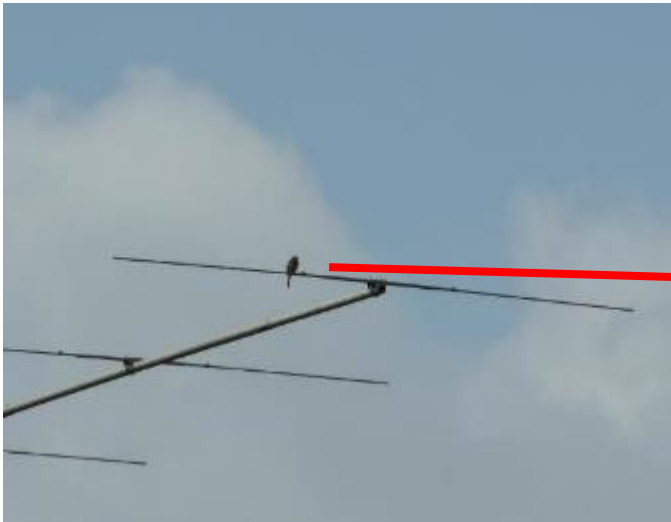
首が長いですね。

これは、カルガモという鳥です。
日本には、冬にカモが見られますが、夏でもみられるカモは夏に子育てをするカルガモだけです。



どこからか鳥の鳴き声がします。鳴き声がする方を双眼鏡で見てください





アンテナの高いところに鳥がいます。
大きさはスズメくらいで、目の上と下に白い縞模様
がありますね。
ホオジロです。



畑の花を観察してみよう



この黄色い花はオクラという野菜の花です。花の真ん中でおしべとめしべがつながっていますね。
オクラは、ハイビスカスと同じ仲間の植物です。



ヒマワリの花がとてもきれいですね。
ヒマワリの花は太陽の方を向いて咲くと言われま
すが、本当にそうでしょうか。



ヒマワリは花が小さいときは太陽の方を向いて咲きま
すが、花が大きくなると首を回さなくなり
太陽を追いかけなくなるそうです。おもしろいですね。



ヒマワリの花をよく観察すると、花の中に渦巻き模様があることが分かります。
この渦巻き模様は規則にもとづいてできたものらしいのです。自然って不思議ですね。



丸まっている葉っぱの正体は？



クヌギの木を見ていたら、子どもが「丸まっている葉っぱがあるよ。何だろう」と聞かれました。



これは、ハマキガというガの仲間の幼虫が葉っぱを丸めたものです。どんなガが出てくるのでしょうか。



「この丸まった葉っぱもハマキガの幼虫？」
今度は、カラムシという植物の葉が丸まっています。
中を見てみましょう。



アカタテハというチョウの幼虫です。

いろいろなバッタをつかまえてみよう



いろいろなバッタをつかまえてみましょう。



ショウリョウバッタ、ヒシバッタ、クサキリ、イナゴ、フキバッタなどがいました。
今度は、どんなふうに飛ぶのか、飛び方をみてみましょう。

緑色のいがぐりを観察してみたら

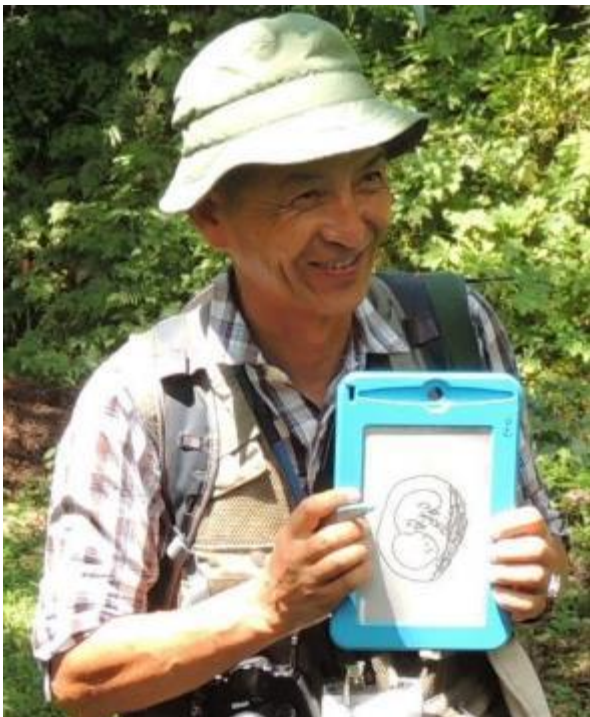
秋のおいしい代表的な食べ物のひとつにクリがあります。

クリはトゲトゲのいがの中に入っている実を食べますが、今日は、緑色の若いいがの中身を観察してみましょう





いがの中には3つのクリの赤ちゃんが入っています。
トゲトゲのいがのでき方は、どのようになっているでしょう。
途中から枝分かれするようにできていますね。

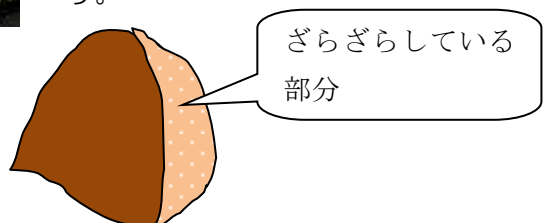


みなさんは、人間の赤ちゃんがお母さんのお腹の中にある様子を絵でみたことがありますか。

赤ちゃんは臍帯（へその緒）という管をとおしてお母さんから栄養をいただいているのです。

今、見ているクリのいがの断面をみると、木がお母さんだとすると、三つ子のクリはお母さんから栄養をもらっているように見えませんか。

つまり、クリの下のざらざらしている部分は、木から栄養をもらった管の跡なのです。



つるは伸びるよどこまでも



この植物は、クズという植物です。秋の七草や根に含まれるでんぷんから作ったくず粉の植物として知られています。とても成長が早く、ひと夏で10から20メートルもつるが伸びて成長します。



クズのつるを虫眼鏡で見ると、つるの先端は伸びる方向に対して反対向きに毛が生えています。一方、先端以外の部分は、毛はつるからほぼ直角に生えています。先端のつるは、ほかの木や草に絡みやすいように毛の生える向きを変えているのです。クズの知恵ですね。

今日のできごとを新聞にしてみよう





バッタやセミ、くりのいがの様子など、とてもすてきな新聞ができあがりました。